

Public relations of Minami-Aizu

広報 みなみあいづ

3

2007

No.12



まちの話題	— News & Topics —	2 - 9
くらしの情報	— Information —	10 - 21
みんなの広場	— Arts and People —	22 - 23
探訪南会津		24

春の訪れ
(南郷地域中小屋地区)

まちの人口

(平成19年3月1日現在)

総人口 19,974 (△3人) 男 9,697人 (△5人) 女 10,277人 (2人) 世帯数 7,086世帯 (△10)
※()内は前月比

町政懇談会



昨年10月から12月にかけて、「町政懇談会」が開催されました。
 町政懇談会は、田島、館石、伊南、南郷の4地域で行われ、参加された方のご意見、提言に対し、町長が答える形で進行されました。
 町長は「これからもみなさんとお話しできる機会を作っていきたい」と話し、それぞれの地域の抱える問題などについて、参加住民と意見を交わしました。

—おことわり—

掲載にあたり、本来であれば参加された方のすべてのご意見を掲載するところですが、紙面構成の都合上、主な意見のみの掲載とさせていただきます。また、個人情報保護の観点から、参加された方のお名前等も未掲載とさせていただきます。

他の貴重なご意見等につきましては、今後の町政への参加とさせていただきますのでご了承ください。



館岩地域

平成18年10月11日(水)
 館岩会館 参加者6名

■尾瀬国立公園創設にかかる展望について
 尾瀬が日光国立公園から独立する動きがあり、南会津町もぜひ、その動きを検討してほしい。

■スキー場と雇用問題
 現在、たかつえスキー場に限らず、スキー客の減少により、集客が伸び悩んでいる。そんな中で、団体客を優先し、個人客を大切にしたい傾向があるように感じる。個人のお客様も大切にしたい。また、スキー場の活性化を図り、雇用を増やしてほしい。

■観光資源の活用とシャトルバスの運行について
 町にある4つのスキー場の夏場の利用促進を図る。現在都会にはウォーキングやハイキングが人気で、そのコースを求めている。4スキー場を結ぶ広大なウォーキングコースを開設してほしい。また、冬場も4スキー場を巡回するシャトルバスを運行してほしいか。

■やまなみ博覧会について
 やまなみ博覧会は観光や地域の資源を結びつけるものとして、とても有益な事業、だと思うので、早期開催を希望する。

■企業誘致と起業について
 光ファイバを利用した企業を誘致してほしい。また、町外・県外から起業する事業者には補助金等の優遇措置があるが、町内で起業する者にはその優遇措置がないので、検討してほしい。

■若者の登用について
 若者が定住するためには、活躍できる場、活動できる場が必要。その創出をお願いしたい。

■地産地消について
地産地消で大切なのは実際に売る場所を確定させること。地元の特産物を町施設等で使用するなど、



伊南地域

平成18年10月13日(金)
伊南会館 参加者4名

■町が率先して取り組んでほしい。
町施設の有効活用について
武道館や弓道場を利用し、都会から子どもたちを招き、精神教育を行うとはどうか。都会から受け入れることで、地域のPRにつながる。

■林業の衰退について
林業の衰退は重大な問題。高齢化により自分の山林も手入れができない状況で、経済的、精神的にも継続困難である。森林組合の強化、バックアップをお願いしたい。

■地域医療について
西部地区は南会津病院までの道のりが遠く、それが原因で助かる命が助からないケースも考えられる。医療環境の充実を図ってほしい。

■冬期間の雇用創出について
この地域で、冬期間の雇用は大きな問題。公共事業の調整などで夏場と平均的に雇用が保たれるようにしてほしい。

■後継者対策について
後継者対策は地域にとって重要な問題なので、出会いふれあいフェスタなどに対し、町で支援してほしい。

■地域振興について
スキー場を中心とした観光事業、地域振興にも力を入れていただき、継続性のある観光事業を発展させていきたい。

■県立南会津高校の存続について
南会津高校の存続のため、寮の改築とバス通学に対する優遇をお願いしたい。

■光通信の活用について
光通信というインターネットばかりが着目されるが、それ以外にも活用できる分野は多くある。住民が光通信をより利用できる環境の整備をお願いしたい。

■農業新規参入者への支援について
都会からの新規参入者に対する、古い住宅をリフォームするための支援をお願いしたい。



南郷地域

平成18年10月24日(火)
南郷総合支所 参加者7名

■空き家対策について
どの行政区にも空き家があり、中には老朽化などにより危険な家屋もある。対策をお願いしたい。

町長との懇談会

「町長室へどうぞ」開催のお知らせ

町政懇談会は4月より「町長室へどうぞ」と名前を変え、より皆さんとコミュニケーションをとりやすい形で広聴事業を行います。皆さん、お気軽にご参加ください。

【日時】例月、下記の通り各地域ごとに開催日を固定し、開催します。

- ◆田島地域 毎月第4水曜日
午後2時～午後5時
(1組30分程度×6組)
- ◆館岩地域 毎月第4水曜日
午前10時～正午
(1組30分程度×4組)
- ◆伊南地域 毎月第1水曜日
午後2時～午後4時
(1組30分程度×4組)
- ◆南郷地域 毎月第1水曜日
午前10時～正午
(1組30分程度×4組)

【申込み方法】

- ・事前申込み制とし、各地域（本庁、総合支所）で受け付けます。
- ・電話またはFAXにて予約をお願いします。予約の際、地区名、氏名、大まかな懇談内容をご確認します。

【申し込み先】

本庁企画観光課広報情報係 TEL0241-62-6200
館岩総合支所振興課企画観光係TEL0241-78-3330
伊南総合支所振興課企画観光係TEL0241-76-7715
南郷総合支所振興課企画観光係TEL0241-72-2900



田島地域

平成18年12月9日(土)
御蔵入交流館 参加者10名

■荒海財産区について
今回の町村合併に伴い、荒海財産区の明確な事務処理をお願いしたい。

■町政全般について
町政に核になる1本の柱を作ってほしい。何かしつかりした柱を作り、それを中心にしっかりと持っていく。行政に明確な方向性が見えない。方向性を示してほしい。また、行政について相談できるような組織を作してほしい。

■「活かす」をテーマにした地域おこし
南会津にはたくさん資源があり、それらを活かすことが大切。人・モノ・コトをつなげ、役割を与えることで活かされる。米の転作補償について

■除雪対策について
1人暮らしだが、娘が町内にいるため高齢者世帯除雪支援事業の補助対象にならなかった。改善をお願いしたい。

■地区敬老会への支援について
町財政状況の厳しさは理解しているが、地区敬老会への町支援をお願いしたい。

■防災行政について
地域の防災や災害時のスムーズな情報伝達のために防災無線の早期整備をお願いしたい。また、台風や山崩れなど、災害時に住民が混乱しないように「ハザードマップ」を作成してほしい。

■マッサージュにかける医療費補助について
合併後、「はり、きゅう、マッサージュ等施術所利用者助成規則」が改正され、要件が厳しくなった。

町教育委員会表彰式



3月2日、平成18年度南会津町教育委員会表彰が御蔵入交流館で行われ、スポーツ関係で60名、文化関係で14名1団体が「奨励賞」を受賞されました。

この表彰は、町教育委員会表彰規定に基づき、スポーツや芸術の分野で優秀な成績を収めた方に対して贈られるものです。

なお、表彰者は以下のとおりです。

文化関係

氏名	所属	種目	主な功績
渡部 綾	田島保育園 (5歳)	絵画	第37回世界児童画展読売新聞社賞
田島保育園		絵画	第27回FCT児童画展団体賞
中村 葵	田島第二小学校5年	毛筆の部	福島県書き初め展書き初め大賞
湯田 萌	檜沢小学校1年	図画	福島県歯科衛生図画ポスターコンクール最優秀賞
白井 友貴	檜沢小学校3年	理科	福島県小学校理科作品展特選
赤松 明李	舘岩小学校6年	毛筆の部	福島県書き初め展書き初め大賞
栗城 美咲	荒海中学校3年	書道・書写	福島県書き初め展書き初め大賞・福島県たなばた展たなばた大賞
星 来美	荒海中学校2年	読書感想文	青少年読書感想文全国コンクール福島県審査会特選
阿久津 恵	舘岩中学校1年		博物館の達人野依科学奨励賞
楠 奈津美	舘岩中学校3年	書写	歯科衛生図画、ポスター、書写、標語コンクール最優秀
赤松 了太	舘岩中学校2年	毛筆の部	福島県書き初め展書き初め大賞
星 春菜	南会津高等学校3年	テレビ・ドキュメント部門	第53回NHK杯全国高校放送コンテスト 全国大会優良賞
宮崎 愛美	南会津高等学校2年		
君島 悠香	会津学鳳高等学校2年	書道・書写	福島県たなばた展たなばた大賞
廣野 資郎	田島写真クラブ	写真	第34回福島県写真展福島県知事賞福島県写真連盟大賞

スポーツ関係 —その1—

氏名	所属	学校・学年	種目	主な功績
渡部 雄飛	瑞空塾田島支部	田島小1年	空手	和道会全国空手道競技大会小学1・2年男女組手第3位
室井 拓也		田島小6年		連合会福島県オープン空手道選手権大会小学団体形優勝
湯田 浩成		田島中3年		全日本空手道連盟和道会東北空手道選手権大会中学男子形優勝
湯田 浩登		田島高3年		全日本空手道連盟和道会東北空手道選手権大会高校男子形優勝
湯田 智浩		東京農大3年		和道会全国空手道競技大会一般男子形準優勝
齋藤 麻衣	宇都宮文星女子高等学校	3年		全国高等学校空手道選抜大会女子団体形3位
芳賀 祥	たかつえレーシング	館岩小6年	スキー (アルペン)	福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技小学6年男子の部優勝
星 裕都	田島りんどうSRC	田島中1年		福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技中学1年男子の部優勝
田村 仁	台鞍HUUレーシング	田島中3年		福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技中学3年男子の部優勝
近藤さつき	南会津高等学校	南会津高3年		福島県高等学校体育大会女子大回転優勝
梅本 亜美	田島チビッコ レスリングクラブ	荒海小6年	レスリング	北日本少年少女レスリング選手権大会5・6年女子45kg級優勝
湯田 貴行		田島二小4年		北日本少年少女レスリング選手権大会3・4年39kg級優勝
渡部 陽平		荒海小2年		上武杯大会1・2年の部+28kg級準優勝
平野 奈菜		田島中2年		全国中学生選手権大会女子52kg4位
馬場 貴大	伊南スポーツ少年団	伊南小5年	スキー (クロカン)	福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技クラシカル3kmkm優勝
馬場 亮太		伊南中3年		福島県総体スポーツ少年団体育大会スキー競技クラシカル10km優勝
角 咲枝	会津学鳳高等学校	1年		福島県高等学校体育大会スキー競技フリー10km優勝
星 友和	田島高等学校	田島高3年	レスリング	東北高等学校レスリング選手権大会84kg級3位
渡部 友章		田島高3年		東北高等学校レスリング選手権大会74kg級優勝
福田 広樹		田島高2年		アジアカデットレスリング選手権大会グレコローマン100kg級3位
渡部 沙織		田島高2年		アジアカデットレスリング選手権大会グレコローマン女子カデット65kg級優勝
湯田祐太郎		田島高2年		福島県総合体育大会60kg級優勝
平野 春菜		田島高2年		クイーンズカップ(全国)56kg級3位
浅沼 由美	若松商業高等学校	3年	剣道	東北高等学校女子剣道選手権大会女子団体3位
玉川 茜		3年		福島県総合体育大会女子個人優勝
湯田沙也香		3年		東北高等学校女子剣道選手権大会女子団体3位
渡邊 克礼	福島県剣道連盟	南会津高教諭		全国教職員剣道大会団体優勝
星 由佳里	埼玉大学	埼玉大学3年		全日本女子学生剣道優勝大会団体優勝
湯田 梨沙	青森大学	青森大学3年		東北女子学生剣道選手権大会個人準優勝
浅井トク子			グラウンド ゴルフ	福島県総合体育大会女子70歳未満の部優勝
湯田 忠				日刊スポーツ2006熊谷ドーム特別大会第3位
小川 貴	福島高専ホープス	高専4年	野球	第77回都市対抗野球第一次予選福島県大会優勝

スポーツ関係 —その2—

チーム名	メンバー	種目	主な功績
りんどうスポ少女子ソフトボール部	中山 美奈 湯田 優 星 侑里 大竹 瑠美 五十嵐まどか 稲月 百花 玉木 玲吏 星 美江 鹿目 真実 湯田 萌花 猪股 麻悠 弓田 真結 五十嵐 遥 稲月 優香 星 朱里	ソフトボール	東北小学女子ソフトボール大会 3位
嶋山	湯田 貴明 芳賀沼喜一郎 馬場 一禎 平野 順一 渡部 直尚 湯田 研一 渡部 誠 室井 拓也 湯田 美成 高橋 信仁	軟式野球	高松宮賜杯軟式野球大会(II部) 福島県大会優勝
伊南弓道会	堀金 弘三 馬場 豊 武田 治一	弓道近的	福島県春季弓道大会優勝

ま
ち
の
話
題

緑のふるさと協力隊

活動報告レポート

昨年4月に伊南地域に派遣された緑のふるさと協力隊の糠谷直輝さんと佐々木真希さんは、この3月に1年間の活動を終えます。今回、2人に1年間の活動を振り返っていただきました。「外から見た南会津町」と「実際に生活してみた南会津町」には、どんな違いがあったのでしょうか。



糠谷 直輝さん

いところでの生活を初めて体験する自分をいつも親切に支えてくれた地域の方々にとっても感謝しています。自分がここに来て毎日楽しく生活できたのも皆さんのおかげだと思っています。

自分が来たことで、この地域にどんな協力ができたかわかりませんが、目に見えない形でも何かしらの貢献ができたことを願っています。これからもぜひ都会から、他の地域からの人をこの地域に受け入れ、この地域のすばらしさを多くの人に伝えてほしいと思います。1年間ありがとうございました。

昨年の4月から伊南地域でお世話になり、今までの活動を振り返ると、もう1年が経ってしまっただのか、と感じます。稲、トマト、花などの農業の手伝いをさせてもらったり、祭りや山開きなどのイベントに参加したり、東京や埼玉に特産品の販売に行ったり、子供たちとソフトボールやスキーをしたり、本当に1年間という短い間でいろんな活動をさせてもらえたと思います。

農業の仕事もまったく初めての自分に丁寧に指導してくださった農家の方々、また山の中の雪が多



宿製弁当を販売しました



クリスマス会 子どもたちと一緒に



三ツ岩岳山開き 山頂にて

インタビュー

お二人に聞きました

まずは1年間の活動を振り返り、感想を教えてください。

糠谷：昨年4月10日に初めてこの地域を訪れたときの雪深さが忘れられません。それから1年間活動させていただき、多くの人と出会い、助けてもらいながらようやく過ごせたかな、と思います。

佐々木：私はここに来る前に農業はもちろん土いじりさえしたことがありませんでした。来た当初は雪害で壊れたトマトハウスの修復作業が続く、想像以上に農作業には体力が必要だということを知らされました。それから初めてのことが続き、戸惑うこともありましたが、周りのみなさんのおかげで、無事終えることができました。

ーこの1年間で思い出に残ることは何でしたか？

糠谷：僕は地域の子どもたちにソフトボールを教える機会に恵まれ、多くの時間を子どもたちと過ごしました。子どもたちの指導は難しく、あまり強く言う子どもたちは萎縮してしまいますし、かといっていい加減なことを言うとなんか突っ込まれてしまいます。中途半端には教えられない、ということを感じました。そんな中で、保護者の皆さんと6年生を中心にチーム作りを進め、9月の公式戦で初めて勝って喜び合ったときのことは決して忘れられません。

佐々木：私はこの地域の女性の元気のよさと高齢者の方たちの達者さに驚きました。特に女性は、昼は男性と一緒に農作業をし、食事の準備もします。また、夜は針仕事やその他身の回りの細かいことをします。作業用の手差しを作ったり、漬物や笹まきなど季節の料理を作ったり。



佐々木 真希さん

南会津に来て11ヶ月が経つ。気づいてみればトマトの仕事、りんどう、かすみ草畑での仕事、稲刈りシーズンのライスセンターや農協の米倉庫での手伝い、ナメコとりや雪に備えた冬支度、その他に山開きや鮎祭り、古町祭り等のイベント参加や観光物産展参加等々、雪の無い時期での生活は息つく余裕も無くあつという間だった。そして年末、ひとたびまとまった雪が降ればそれはもう根雪。雪に包まれたひっそりとした暮らしが始まっていた。

そんなこの伊南の地域に暮らして、都市で私達が食べている米や野菜、蕎麦や花はこういった田舎の人達が腰を痛め、手を汚し、汗を流し作っていたんだと、強く思うと同時に少子高齢、過疎化が深刻化しているこの地域ですが、何とかこの懐かしい日本の原風景が変わらないで残り続けて欲しい・・・難しい課題だとも実感しましたが、そう願っています

そして何よりも、お世話になった農家、地域の皆さん、役場の皆さんにありがとうを言いたいです。一生忘れられない大切な出会いです。

1年間の活動内容

【農業分野での活動】

伊南の郷 ハウス組み立て、種播き、育苗、田植、稲刈り、袋詰め、野菜の出荷
 トマト（仮植、定植、収穫、出荷）、
 花農家（定植、草取り、収穫、出荷）、
 にんにく（根切り、畑準備、収穫）
 赤カブ（種播き、収穫）なめことり、
 農協・緑ふる農園での野菜作り

【イベント参加・手伝い】

三ツ岩岳・大博多山開き、田島祇園祭、R289こどもサミット、久川城祭り、和太鼓フェスティバル、いわな釣り大会、古町まつり、敬老会、鮎まつり、地区運動会

【出店・直売】

埼玉県ばら祭り、伊奈祭り、さいたま市民祭り、屏風岩前直売、埼玉県川越産業博覧会、五反田ゆうぽーとフェスティバル

【冬の活動】

スキー場、伊南Jr.スキークラブ、地鶏の世話、卵集め、冬囲い

【その他】

まちづくり先進地視察、クリスマスパーティー、ソフトボールコーチ、わんぱーくいな



ナメコ採りのお手伝い



歩行田植機も操作しました



高畑スキー場で花木の

いつそんな時間があるのか不思議でなりませんでした。男性の方のたくましさももちろんすごいのですが、同じ女性として、その点がとても印象に残りました。

「お二人の目から見たこの地域の課題は何だと思えますか？」

糠谷：やはり少子高齢化があげられると思います。農家の手伝いをさせていたただいて、私と同世代の方、私より年下の方がおらず、さびしく感じました。サラリーマンと違って農業は働いている姿がよく見えます。誇りを持って従事していただきたいと思えます。

佐々木：私も同じように少子高齢化については来る前から予備知識として知っていました。実際に来てその実態の厳しさを知りました。

「最後に今後の抱負と地域の皆さんへひとことをお願いします。」

糠谷：私が緑の協力隊員としてできることは何なのか、模索しているところです。しかし、私がこの地域で過ごした1年間の経験は間違いなく私の人生の糧となり、いろいろな場面で都会の人をはじめ、伝える場面が必ず出てくると思いますので、この地域の良さを伝えていきたいと思えます。また、この地域の若い人たちには、真剣に地域づくりをやってほしいと思います。ありがとうございます。

佐々木：この地域の季節や風景はとても素晴らしいものです。雪が積もった風景や月の明かりに照らされて稜線がくっきり浮き出る尾白山は言葉にならないほど美しいものです。この日本の原風景とも言える美しい景観が残るよう、この地域の良さを伝えていきたいと思えます。この地域を宣伝できるチャンスは、普段の生活の場面であると思えます。また、地域の皆さんにもぜひその素晴らしさに気づいていただきたいと思えます。1年間、本当にありがとうございました。

めでたく賀寿
～田島地域 大橋 春代さん～



ご家族に囲まれて賀寿を祝いました

田島地域の大家ハルヨが2月15日に100歳の誕生日を迎えられ、翌16日賀寿贈呈式が田島ホームで行われました。

ハルヨさんは明治44年生まれ。10人のお子さんを持ち、農業を営まれてこられました。

この日はお子さんをはじめご家族に囲まれ、家族みんなで春代さんの賀寿を祝いました。

長生きの秘訣は「畑仕事を楽しみながらマイペースに生活すること」だそうです。おめでとく「げんまふ」。

渡部雅之助さん瑞宝双光章受章



渡部雅之助さん

田島地域中荒井の渡部雅之助さんが高齢者叙勲（瑞宝双光章）を受章されました。

渡部さんは昭和14年に田島職業紹介所に就職されてから38年余公務員として勤められ、労働基準監督官として活躍されました。

渡部さんは「昭和30年から平労働基準監督署で勤務していた当時、昭和35年に常磐炭鉱で坑内ガス爆発事故があり、労災保険担当課長でしたので、遺族の方々の気持ちを思いながら事故後の事務処理をしたことが忘れられない」そう、今回の受章に「38年の公務員生活を送れたのは家族や職場の方々の協力があつたからです。心から感謝したい」と述べました。

まちの話題

みんなで修復 みんなで大切に 田島高校前駅舎を協働で修復



(上)高校生と関係者が力を合わせて作業しました
(右)暖かい駅舎ができました



田島高校環境コース2年生と町防犯指導隊田島分隊らは、窓の入っていなかった会津鉄道田島高校前駅の駅舎に協働で手作りの窓を取り付けました。

この駅舎の窓枠は現在の規格と違うため、サッシが取り付けられず、冬でも吹きさらしの状態となっていました。この日は田島高校生11名、防犯指導隊、会津鉄道、町関係者、地元の大工ら計20名が参加し、作業を行いました。高校生ははじめ慣れない手つきでしたが、大工や大人の指導を受け、次第に積極的に作業に取り組みました。

参加した田島高校2年の吉田公則くんは「これまで寒かった駅舎が暖かくなってとても良かった。また、みなさんと一緒に作業できたことも良かった」と感想を述べました。作業後、堀金子防犯指導隊田島分隊長は「みんなの公共物、みんなで大切に。公共物を大切に作る意識をここから発信しましょう」とあいさつしました。

今年も福を求め「福は内！」 大泉寺年男豆まき



「福は内」福を求めて大いに盛り上がりました

南郷地域和泉田地区の大泉寺では恒例の「年男節分豆まき」が行われました。今年で11回目を迎えるこの豆まきには子どもたちをはじめ200人以上の地域住民が集まりました。また、町長も参加し、あいさつを行いました。その後新保秀幸住職が節分の由来などについて法話し、豆まきを開始しました。

豆をまいたのは今年年男を迎えた男性で、大きな声で「福は内」と豆やお菓子、福袋をまき、参加者は懸命に福を求めていました。豆まきのおと、抽選会も開かれ、当選者には縁起物のだるまがプレゼントされました。

地域の“足”を地域で考える 町地域公共交通会議



委員に委嘱状が交付されました

2月22日、第1回南会津町地域公共交通会議（会長杉浦孝幸助役）が行われ、町内における路線バス等の公共交通について議論が交わされました。この会議は、昨年の道路運送法の一部改正に伴い、地域の実情に合わせて輸送サービスの提供を選択する際、路線バス等の新設、廃止等に関し、住民の皆さんの意見を聴くとともに、関係機関の皆さんに協議いただくため、町が設置したものです。

第1回目の会議では、はじめに委員に委嘱状が交付され、役員の選任が行われました。また、協議では、平成19年度から運行を計画している田島地域巡回乗合タクシーの運行等に関して真剣な議論が展開されました。

委員には、東北運輸局福島運輸支局をはじめ、南会津地方振興局、南会津警察署等の行政側の委員、一般旅客自動車運送事業者並びに一般利用者からは老人代表、婦人代表などの皆さんが就任され、今後、任期となる2年間で、地域における路線バス等の公共交通についてご審議いただくこととなります。

ご寄付ありがとうございます

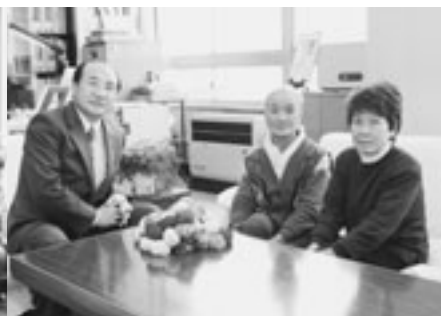
室井一仁さん



○金3万円

町の文化・教育振興のために特別養護老人ホームなどで踊りや唄を披露して受けたおひねりなどをためたものを寄付いただきました。室井さんの寄付はこれで4回目になります。

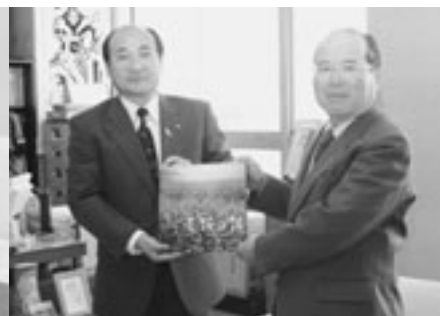
塩生ミサヲさん



○手作りのお手玉200個

着なくなった洋服と小豆で作った手作りのお手玉を寄贈いただきました。町内の保育所、幼稚園で活用させていただきます。

湯田耕衛さん



○写真集「天領の詩」60冊

自主出版された写真集「天領の詩」には、南会津の四季を通じた自然の美しい写真が写されています。学校や町施設で活用させていただきます。

くらしの情報

Information for daily life

このコーナーでは町や県、国からのお知らせをお伝えします。

- 回…日時・期間
- 場…場所
- 料…料金・費用
- 申…申込方法・申込先
- 問…問い合わせ先
- 電…電話番号
- FAX…FAX番号
- ア…アドレス
- 内…内容
- 対…対象者
- 定…定員
- 担…担当者

2009フリースタイルスキー選手権が開催されます 会津フレッシユリゾート構想推進会議参加者募集のお知らせ

2009年3月に猪苗代町でフリースタイルスキー選手権が行われる予定です。そこで、世界選手権の概要を知り、海外からのお客様を迎えるための観光ノウハウやボランティアについての講演会を実施します。

日平成19年3月19日(月)
午後1時30分～

内「フリースタイルスキー」世界選手権猪苗代大会の概要
午後2時～
「世界トップレベルの観光ノウハウについて」
講師 J・T・I・C・S・W・I・S・S
代表

(日本語インフォメーションセンター) 山田 圭一郎 氏
場会津若松フシントンホテル
料無料
申会津若松市役所地域振興課
電0242(39)1202

3月・4月は引越しの季節です
引越相談所開設のお知らせ

トラック事業者の団体である福島県トラック協会では、引越しシーズンのピークとなる3月・4月の2ヶ月間、県内6ヶ所で「引越相談所」を開設し、電話などによる引越等の相談に応じています。緑ナンバーのトラックを利用している引越や、引越に伴うサービスについてお困りのことがありましたら、最寄の「相談所」へご相談ください。

日平日午前9時～午後4時
※FAXでの相談は終日受け付けています。

電0242(24)4855
電0242(25)2199

自動車をお持ちの方へ
福島県南会津地方振興局より

自動車の登録状況を確認してみましょう
毎年自動車税の納付時期になると「納税通知書がこない」、「持っ

ていない(使用していない)車の納税通知書がきた」等のお問い合わせを多数いただきます。
自動車税は4月1日現在で所有者(割賦販売の場合は使用者)として登録されている方に課税されるため、自動車を譲渡した・譲り受けた・下取りに出した・廃車した・住所を変更した等の場合は3月31日までに運輸支局で登録手続を済ませれば、納税通知書が正しく届きます。登録が済んでいない方は、速やかに登録の手続を済ませましょう。また、登録手続を依頼した場合は、登録が済んでいることを確認しましょう。

くらしの情報

名義(所有者)を変更した場合
←
移動登録

住所を変更した場合
←
変更登録

廃車したい場合
←
抹消登録

車検の際は納税証明書が必要ですが、自動車(継続検査)を受けるには納税証明書が必要です。税金を納めた時に交付される領収書に納税証明書がついていますので、車検と一緒に保管し、車検の際に使用してください。また、なくされてしまった場合は、車検

証の有効期限の1ヶ月前からであれば最寄りの地方振興局県税部で再発行いたしますので、車検証をお持ちになつて申請してください。
■ 売買や引越しによって他都道府県ナンバーに変更されたのち、次年度分の自動車税の納期限までに車検を受ける場合は、転出前の都道府県が発行した車検用の納税証明書が必要になります。
※ 売買の際は前所有者(使用者)から新所有者(使用者)に納税証明書を確認に受け渡すことが大切です。

福島県南会津地方振興局県税部
電0241(62)5212

ホームステイ型医学教育 研修プログラム

福島県立医科大学では、平成17年度から医学生を対象にした「ホームステイ型医学教育研修プログラム事業」をスタートしました。
この事業は、医学部6年生、卒後臨床研修医、後期(専門医)研修医が地域住民家庭でのホームステイを経験しながら医療研修を実施することによって、医学と研修医の地域医療と地域生活に関する深い理解を促進し、さらに地域への医師定着に結びつけることを目標に実施されています。
平成19年度、町では県立南会津病院で研修を行う医学生6名を受け入れることになりました。
つきましては、医学生を受け入

れている田島地域のご家庭(ホームステイ先)を募集します。興味のある方、受け入れに協力いただける方は本庁企画観光課までご連絡ください。(受入費用の支払いあり)

【受入期間】(2週間)
① 4月9日(月)～4月22日(日)
② 4月23日(月)～4月29日(日)
③ 5月7日(月)～5月13日(日)
④ 5月14日(月)～5月27日(日)
⑤ 5月28日(月)～6月10日(日)
⑥ 6月11日(月)～6月24日(日)
⑦ 6月25日(月)～7月8日(日)

本庁企画観光課企画調整係
電0241(62)6210

平成19年度地域ビジネス 創出支援事業募集お知らせ

福島県では、地域独自の資源を活用した小規模ビジネスの創業を支援することにより、地域経済の活性化と雇用の創出等を目的に、創業経費等の事業費の補助を行います。
下記のとおり補助対象となる事業計画の募集を行っておりますので、地域が元気になる提案をお待ちしています。

【対象事業】
◇補助対象
・ 県内に居住する個人
・ 県内を主な活動範囲とする任意グループ
・ 県内に主たる事業所を置く法人

◇補助事業の対象
(1)地域の資源を活用したビジネス

創出支援事業募集のお知らせ

ス
 (2) 地域の問題や課題の解決を図り、地域の活性化が図られるビジネス

(3) 収益を目的とし、継続が見込まれる事業であること

◇補助対象経費

事業に要する経費で、構築物費、機械装置費、工具器具費、労務費、報償費、旅費、試作品製作費、委託料、広告宣伝費

◇補助金の額・補助率

1件当たり100万～300万とし、補助対象経費の2/3を上限とします。

※予算の範囲内での交付

【募集期間】

平成19年4月10日(火)まで

【応募先】

福島県南会津地方振興局

商工労働部

地域づくり・商工労政グループ

電話 0241(62) 5207

0241(62) 5209

県のホームページから様式ダウンロードすることができます。
<http://www.pref.fukushima.jp/industry/index.html>

事業所等のみならずへ

町民憲章を「活用ください」

町では、町民憲章をより身近で親しみのあるものとするため、ポスターサイズの町民憲章(B2版)を作成しました。

つきましては、各行政区の集会所等へはお配りしますが、希望する事業所等へも配布しますので、希望する方は本庁企画観光課、も

しくは各総合支所振興課までご連絡ください。

■

本庁企画観光課企画調整係

電話 0241(62) 6210

館岩総合支所振興課企画観光係

電話 0241(78) 7715

伊南総合支所振興課企画観光係

電話 0241(76) 3315

南郷総合支所振興課企画観光係

電話 0241(72) 2900



南会津町民憲章

平成十八年七月一日制定

わたくしたちは、美しい自然と古い歴史にめぐまれ、文化の薫り豊かな南会津町民であることに自覚と誇りをもちます。

わたくしたちは、この町をさらに住みよく豊かにするため、ひとりひとりの望ましい生活と町のめざす道を明らかにします。

- 一 自然を愛し、美しい町をつくりましょう
- 一 心身を鍛え、健康な町をつくりましょう
- 一 楽しく働き、活力のある町をつくりましょう
- 一 たがいに助け合い、住みよい町をつくりましょう
- 一 きまわりを守り、明るい町をつくりましょう
- 一 教養を高め、文化の町をつくりましょう

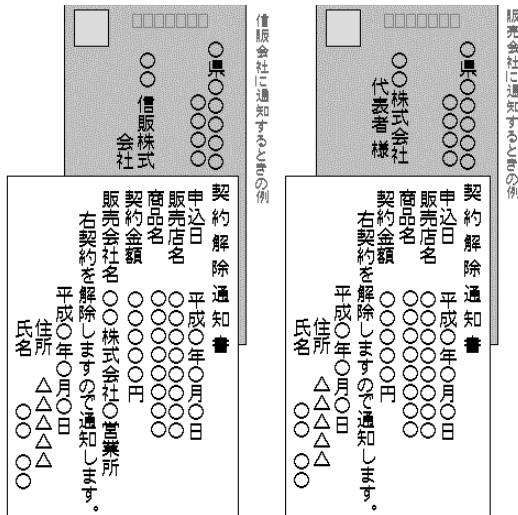
《消費生活かわら版》

クーリング・オフの仕方は？

契約を解除する旨の通知書を作成し、業者に郵便などで送ります。また、商品代金の支払いのために審査会社とクレジット契約をした場合は、信販会社にも提出してください。

【はがきの場合】

- ・必ずコピーをとって保管しましょう
- ・「配達記録」か「簡易書留」郵便で送付しましょう



- 本庁住民生活課 0241-62-6120
- 館岩総合支所住民課 0241-78-3325
- 伊南総合支所住民課 0241-76-7713
- 南郷総合支所住民課 0241-72-2225
- 福島県消費生活センター 024-521-7737
- 南会津警察署 0241-62-1140

この4月に行われる統一地方選挙の
 主な日程をお知らせします

○福島県議会議員一般選挙

平成19年3月30日(金)告示日
 平成19年4月8日(日)投票日

○参議院福島県選出議員補欠選挙

平成19年4月5日(木)告示日
 平成19年4月22日(日)投票日

○南会津町議会議員一般選挙

平成19年4月17日(火)告示日
 平成19年4月22日(日)投票日

町議会議員選挙立候補予定者事務説明会

日時：平成19年3月20日(火) 午後1:30～
 場所：御蔵入交流館 多目的ホール

○今回の統一地方選挙から一部の投票区が統合となります。

【田島地域】

小出原投票区が栗生沢投票区に統合
 萩野投票区が羽塩投票区に統合

【館岩地域】

前沢投票区、穴原投票区が塩ノ原投票区に統合

【南郷地域】

中小屋投票区が山口投票区に統合
 小野島投票区が界投票区に統合

選挙に関するお問い合わせは
 本庁選挙管理委員会 TEL0241-62-6100

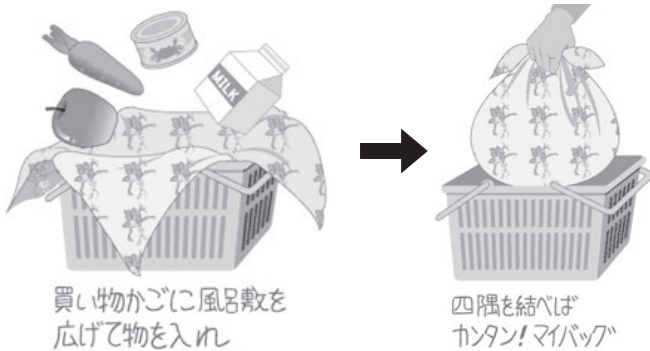
マイバッグを利用しましょう！

地球温暖化防止・資源の有効利用のため、レジ袋を減らす「レジ袋有料化」が全国的に試行・実施されています。レジ袋を減らすことは日常的に食料品等を購入する私たちにとって、すぐにでもできるエコライフの第一歩です。

マイバッグ運動・マイレジかご（エコバスケット）運動は環境面だけでなく、便利さとお得な点もたくさんあります。

◇マイバッグ◇

- 1、買い物の際にマイバッグ（自分の買い物袋）を持参します。
- 2、店の買い物かごで商品を選び、レジで精算のときにマイバッグに入れてもらいます。

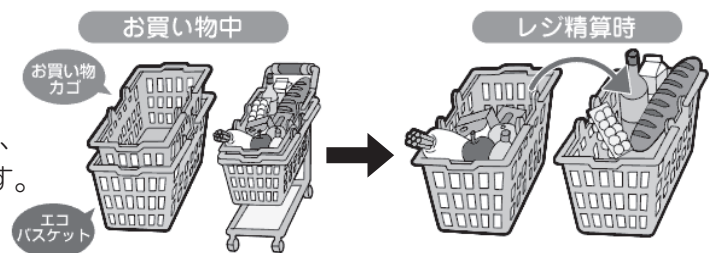


マイバッグで一番簡単で機能的なものとして“風呂敷”の活用があります。

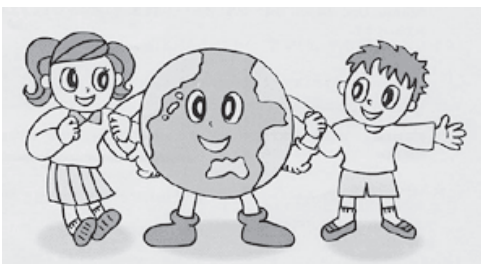
最近はファッション性の高いものや素材にこだわったもの・機能性を追及したものなど、多くのマイバッグがあります。

◇マイレジかご（エコバスケット）

- 1、買い物の際に自分のマイレジかご（エコバスケット）を持参します。
 - 2、店の買い物かごをマイレジかごの内側に入れて商品を選び、レジで精算のときにマイレジかごに入れてもらいます。
- マイレジかごの多くは300円前後で販売され、ほとんどが壊れた場合の交換に応じています。



（レジかごの多くは回収された食品トレイの再生品です）



マイバッグ・マイレジかごは環境にやさしいだけでなく、

- ☆ レジで精算の際には担当の人が、重いものを下に、軽いものを上に入れてくれます。再度袋に詰め替える手間がなく、レジ通過がスムーズになります。（混み合っている時間帯が緩和されます。）

★ 統計では国民一人が年間に消費するレジ袋枚数は220枚といわれています。南会津町（2万人）に換算すると440万枚！この量のレジ袋を作るときに、ドラム缶で約450本の原油を必要としていることとなります。

国民健康保険加入者のみなさんへ 70歳未満の方は入院時の窓口での支払いが限度額までになります！

70歳未満の人が入院したとき、平成19年3月までは、自己負担分(医療費の3割)を全額負担して、あとから申請により限度額を超えた分が支給されましたが、平成19年4月から入院時の窓口支払いが自己負担限度額までになります。

高額療養費の限度額は所得により複数の区分があることから、医療機関の窓口でその区分に応じて限度額を適用するためには、認定証が必要になります。

住民税非課税世帯には、現行の「標準負担額減額認定証」に加えて「限度額適用・標準負担額減額認定証」が、一般および上位所得者には、新たに「限度額適用認定証」が交付されます。

認定証の交付には申請が必要です。



上位所得者とは、国民健康保険税の算定の基礎となる基礎控除後の総額600万円を超える世帯にあたります。所得の申告をしていない人も上位所得者とみなされます。

■ 医療機関窓口で提示するもの

所得区分	平成19年3月まで		平成19年4月から	
一般 上位所得者以外の 住民税課税世帯	保険証		保険証	限度額適用認定証
上位所得者	保険証		保険証	限度額適用認定証
住民税 非課税世帯	保険証	標準負担額減額 認定証	保険証	限度額適用・ 標準負担額減額認定証

入院時に認定証を提示すると、窓口での支払いが下記の限度額までになります。限度額を超えた分は医療機関が町に請求します。

■ 自己負担限度額(月額)

所得区分	3回目までの限度額	4回目以降の限度額※
一般	80,100円 + (医療費 - 267,000円) × 1%	44,400円
上位所得	150,000円 + (医療費 - 500,000円) × 1%	83,400円
住民税非課税世帯	35,400円	24,600円

※ 過去12か月間に、ひとつの世帯で高額療養費の支給が4回以上あった場合の4回目以降の限度額。

● 厚生労働大臣の指定する特定疾病の人は、1か月の自己負担額は10,000円(人工透析が必要な上位所得者は20,000円)までとなります。「特定疾病療養受療証」が必要ですので、申請してください。

(例)入院時の医療費が50万円かかった場合(一般の場合)

- 自己負担額 医療費50万円 × 自己負担割合3割 = 15万円
- 自己負担限度額 80,100円 + (50万円 - 267,000円) × 1% = 82,430円

平成19年3月まで

- 窓口負担 自己負担分 15万円
 - 高額療養費
- 自己負担分15万円 - 限度額82,430円
= 67,570円が申請によりあとから支給されます。

平成19年4月から

- 窓口負担 82,430円
 - 自己負担分が限度額を超えているので、限度額までを負担
 - 高額療養費
- 自己負担分15万円 - 限度額82,430円
= 67,570円は町から医療機関に支払われます。

- 月の1日から末日まで、つまり暦月ごとの受診について計算。
- 同じ病院で、内科などと歯科がある場合は、歯科は別計算。
- 一つの病院・診療所ごとに計算(病院・診療所が違う場合は合算できません)。
- 一つの病院・診療所でも、外来と入院は別計算(外来は診療科ごとに計算する場合があります)。
- 差額ベッド料、入院時の食事代の標準負担額など、保険診療の対象とならないものは除かれます。

詳しくは、住民生活課国保年金係 0241-62-6120 または各総合支所住民課住民生活係までお問い合わせください。
 館岩総合支所住民課 0241-78-3325 伊南総合支所住民課 0241-76-7713 南郷総合支所住民課 0241-72-2225

みんなで会津田島祇園祭を考える会 会員募集！

南会津町が全国に誇る会津田島祇園祭ですが、800年以上受け継がれてきた伝統の裏には、常にそれを支える関係者をはじめとした町民の方々の姿がありました。

しかし、昨今の少子化、高齢化等の問題は祇園祭にも影響を及ぼしており、祭の運営方法について全体的な見直しが求められてきています。

そこで、問題解決や改善に向けて、町最大のイベントである会津田島祇園祭を考えていく組織を立ち上げることといたしました。みなさんのご参加をお待ちしております。



現在の祇園祭はお党屋と呼ばれる祭の中核を担う組織、4つの大屋台が運行するための屋台の組織、子供歌舞伎を支える歌舞伎保存会、出店に係る組織、そして神事など、様々な組織・団体が祭を支えています。しかし、そのどれもが後継者、協力者の不足等の他にも問題を抱えています。

お党屋制度とは
お党屋とは祇園祭自体を担う組織です。現在12組のお党屋があり、1年ずつ祭りを担当し、これを「お党屋制度」と呼びます。それぞれに党屋組といわれる組織があり、1年神主となる党屋（党本）を支えています。

屋台運営協議会とは
現在はお党屋組に加入している戸数が減り、祭事を行っていく為の人手不足、資金の工面が大きな問題となっています。祇園祭で22・23日と勇壮に駆ける4台の屋台の運行計画、子供歌舞伎を上演する芸場に係る協議などを担う組織です。4つの屋台からの代表者で組織されています。祭当日、屋台を押す人手が足りない等の問題を抱えています。

子供歌舞伎保存会とは
江戸時代末から明治初期にかけて行われていた子供歌舞伎を復活させました。指導者、役者、それに関わる協力者の後継者育成、子供歌舞伎の振興・継承を目的に活動しています。

現在は、歌舞伎を教える指導者が少なくなっている。その後継者育成・確保が急務な他、化粧・着付を自分たちの手でまかない、真の地芝居を確立させるのが目標です。

また団体として、自立した自主運営、公演も行えるようになる

会員募集

祇園祭は町民みんなの祭です。みんなで知恵を出し合い、支えて、祇園祭を盛り上げていきませんか？

お申込みは、電話連絡、FAX、メールにて下記期限までに企画観光課にお申し込みください。みなさんの応募をお待ちしております。

記

1. 会の目的 会津田島祇園祭の抱える問題について考え、改善に導く。
2. 参加対象 南会津町民の方で地域、性別、年齢は問いません。祇園祭への思いを持っている方なら、どなたでも結構です。会費等は発生いたしません。
3. 申込期限 平成19年4月13日（金）
4. 申込先 本庁企画観光課へ氏名、住所、電話番号を（申し込み）お伝えください。

TEL：0241-62-6200 FAX：0241-62-1288
E-Mail：info@minamiaizu.org

のが大きな目標です。

そのほか
祭に賑わいをもたらししている出店に関することを担っているのが出店運営実行委員会です。交通規制区間を広げての出店数アップなどを目標にしているのので、それに伴う出店内容の充実（フリーマーケットの参入等）が課題です。

都市交流に関しても、合併後に友好都市が増えたことによるメリットを生かす展開を考えています。（友好都市の出店等）

また、過去屋台上で演奏されていた「しゃんざり」の復活演奏（七行器行列時の生演奏等）も望まれているところですので、そして、人手不足が全体的な問題なので、祇園祭全体に係るボランティア募集も考えていかなければならない共通課題です。

公共下水道供用開始区域の縦覧のお知らせ

縦覧期間 平成19年3月25日(日)～31日(土)
 時 間 【平 日】 午前8時30分～午後7時まで
 【土・日】 午前8時30分～午後5時まで
 場 所 本庁2階町政情報コーナー



排水設備工事にかかる融資あっせん和利子補給制度のご利用について

町では、既設汲み取り便所の水洗式改造工事並びに改設の浄化槽改修工事に付随する排水設備等の工事を行う方を対象に、改造工事に要する資金の融資あっせん及び利子補給を行います。

【融資あっせんの対象】

- ① 下水道の供用開始の日から3年以内に行う改造工事
- ② 町税に未納がなく、融資に対し返済能力を有すること
- ③ 融資を受けた方に代わって返済能力があると認められる連帯保証人2名を有すること

【融資の申込み】

- ① 排水設備工事の確認申請と同時に融資あっせんの申込みをする
- ② 書類審査後、融資あっせん決定通知書及び排水設備工事検査済証と共に希望の融資機関へ借り入れ申込みをする

【融資の内容】

融資あっせん額は、改造工事1件につき80万円の範囲内で、1万円単位により町長が設定した額とする。ただし、融資期間において変更される場合がある。



【償還の方法】

改造資金の償還は、融資を受けた日の属する月の翌月から60ヶ月以内の期間において、毎月元金均等の方法により償還する。

申請に必要な書類（申請人・保証人共通）

- ① 印鑑証明書 ② 所得証明書 ③ 納税証明書
- ④ 資産証明書 ⑤ 工事見積書1通

問い合わせ先

本庁環境水道課下水道係 TEL0241-62-6140

4月の健（検）診

●乳幼児健康診査

日程	健診名	受付時間	場所	対象
18日 水	3-4か月児健康診査	12:15~12:45	保健センター (御蔵入交流館内)	平成18年12月生まれ

●乳幼児健康相談

日程	相談名	受付時間	場所	対象
12日 木	6-7・12-13か月児健康相談	13:30~13:45	館岩保健センター	館岩地域の児：平成18年3月~5月生まれ、平成18年9月~11月生まれ
17日 火	6-7か月児健康相談	13:30~13:45	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域の児：平成18年9月生まれ
19日 木	12-13か月児健康相談	13:30~13:45	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域の児：平成18年3月生まれ
20日 金	6-7・12-13か月児健康相談	9:30~9:45	伊南会館2階	伊南・南郷地域の児： 平成18年3月~4月生まれ、平成18年9月~10月生まれ

●総合健康診査がはじまります（基本健診・胃がん検診・前立腺がん検診・肝炎検診・結核検診）

期間	地域	受付時間	受診料金	健（検）診名	一般	70歳以上
4月23日~5月17日	田島地域	午前7時30分~9時30分 午後1時30分~3時 (一部2時30分終了)	受診料金	基本健診	1500円	500円
5月18日~5月24日	館岩地域			胃がん検診	1000円	500円
5月25日~5月31日	南郷地域			前立腺がん検診	700円	
6月12日~6月16日	伊南地域			肝炎検診	800円	
				結核検診	無料	

※地区や会場等の詳細につきましては、後日、健（検）診録と一緒に配付されるお知らせをご覧ください。
 ※午後は、胃がん検診を実施しませんので、胃がん検診を希望される方は、午前の会場で受診してください。
 自分の地区以外の会場でも受診できます。

ポリオ予防接種

日程	受付時間	会場	対象者
10日 火	13:00~14:00	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域で現住所が「南会津町田島字〇〇」の方、および館岩地域の方
11日 水	14:00~14:30	南郷保健福祉センター	南郷地域および伊南地域の方
24日 火	13:00~14:00	保健センター (御蔵入交流館内)	田島地域で現住所が「南会津町田島字〇〇」以外の方

18年12月以前に生まれ、90か月(7歳6か月)未満で2回終了していない児

南会津町保健センター健診ホール開放日

4月13日(金) 9:30~11:00

就学前のお子さんとその保護者の方を対象に、健診ホールを開放いたします。
 お子さん同士、お母さん同士の情報交換、交流の場としてお気軽にご利用ください。

16・17ページの記事（南会津地方広域市町村圏組合消防本部の記事を除く）に関するお問い合わせは・・・

田島地域	南会津町保健センター	TEL0241-62-6180
館岩地域	館岩総合支所住民課	TEL0241-78-3325
伊南地域	伊南保健センター	TEL0241-76-7121
南郷地域	南郷保健福祉センター	TEL0241-73-2788

虫歯ゼロで元気な笑顔

このコーナーでは3歳児健診で虫歯のなかったお子さんを紹介します。(写真撮影にご協力ください。)



押部 玄太くん
(下山口)



佐藤 豪くん
(東町)



柴崎 結衣ちゃん
(新町)



小椋樹奈ちゃん
(岩下)



星日々季くん
(西町)



大竹杏実ちゃん
(田部原2)



馬場 大輝くん
(永田)

献血にご協力ください

◆春の献血キャンペーンスタート

日本赤十字社では、平成19年3月1日～4月30日までの2ヶ月間、「春の献血キャンペーン」を全国で実施しています。3月から4月は、企業の繁忙期にあたり企業献血が大幅に減少するほか、異動による転勤や、天候の変化で体調を崩す方が増える時期であることから毎年献血者が減少しています。安全な血液を安定的に確保するため、若者を中心に広く国民の皆さまに400ml献血と複数回献血への協力を呼びかけています。

南会津町でも下記のとおり献血を実施しますので、みなさまの温かいご協力をよろしくお願いいたします。

日程	受付時間	場 所
3月 22日(木) 田島地域	9:30~10:30	飯野製作所
	11:00~11:40	広域消防本部
	13:30~14:30	南会津病院
	15:15~16:30	南会津町役場
3月 23日(金) 館岩地域	8:30~10:00	館岩会館
	10:30~11:30	湯花里苑
	13:30~15:30	会津アストリアロッジ前

皆さんの温かいご協力をお願いいたします。

南会津地方広域市町村圏組合消防本部から



高規格救急車が寄贈されました

2月26日、日本損害保険協会より高規格救急車が寄贈されました。同協会は昭和46年度から自賠責保険の運用益を活用し、各地に救急車を寄贈しています。

受納式では、加藤昌明同協会福島損保会長が「救急救命活動に役立ててください」とあいさつし、南会津地方広域市町村圏組合管理者星好久氏(桧枝岐村長)が謝辞を述べました。

この高規格救急車は伊南出張所に配置され、南会津地方西部地区の救急救命率向上に役立てられます。



月田未来さん(南郷一小)に最優秀賞 ～第31回防火ポスターコンクール～

南会津危険物安全協会(渡部暢会長)主催の第31回防火ポスターコンクール表彰式は23日、南会津地方広域消防本部で行われ、最優秀賞の県危険物安全協会連合会長賞に輝いた南郷一小の月田未来さんら入賞者に表彰状が贈られました。

この防火ポスターコンクールは南会津郡内の小学5年生を対象に行われ、17校から339点の応募がありました。結果は以下の通りです。(町内の小学生のみ掲載)

最優秀賞 月田未来(南郷一小)
優秀賞 阿久津岳志(上郷小) 広野愛美(荒海小)
渡部美須寿(南郷二小) 星 冴芳(田島小)
星 武秀(館岩小)

(写真: (左)月田さんの作品 (右)表彰状を受け取る月田さん)

第34回クロスカントリースキー伊南杯



白熱のレースを繰り広げる選手たち

2月18日、クロスカントリースキー伊南杯（兼第17回福島県ジュニア選手権）が伊南地域多々石地区特設距離競技場で行われました。

この大会は、県内の強豪が集うクロスカントリーの大会として知られ、歴史を重ねてきました。34回目を迎えた今年は106名が参加し、日ごろの練習の成果を発揮しました。県内の強豪を相手に、町の子どもたちは健闘を見せてくれました。（結果は次の通り）

■リレー

【小学男子】優勝 南郷クロカンスポ少
（馬場貴大 三瓶志門 五十嵐隆光）

【中学女子】2位 南郷スポ少T3
（平野桃子 酒井亜樹 平野沙理）

■個人

【小学女子3年以下】優勝 馬場美菜子（チーム伊南）
【小学男子】 3位 馬場 貴大（チーム伊南）
4位 五十嵐隆光
（南郷XCスポ少）

【中学女子】 3位 平野 桃子（南郷中学校）
6位 馬場 琴菜（チーム伊南）
8位 酒井 亜樹（南郷中学校）
【中学男子】 3位 馬場 亮太（チーム伊南）

くらしの情報

祝25周年 ～だいくらスキー場～



今シーズンで25周年を迎えるだいくらスキー場で、2月10・11日、25周年を祝うイベント「ミッドウインターフェスティバル'07」が開催されました。

このイベントでは「〇〇を探せ！」と題し、韓国ドラマ冬のソナタでおなじみのペ・ヨンジュンさんのそっくりさんがゲレンデに出現したり、ものまね大会などが行われ、多くのスキー客の目を楽しませました。

また、そり競争やビンゴゲーム、宝探しなどの参加型のゲームも行われました。イベントの最後はたいまつ滑走のあと、打ち上げ花火が打ち上げられ、スキー場を幻想的な世界に染めました。

地域のために地域みんなで ～いな夢クラブ～



3月2日、いな夢クラブ設立総会が行われ、伊南地域に総合型地域スポーツクラブが設立されました。

伊南地域では、平成16年から総合型地域スポーツクラブの設立を目指し、計画を進めてきました。いな夢クラブは、保健部、体育部、自然体験部、文化部の4つの部から成り、体育活動だけでなく、地域の「ふれあい」と「はぐくみ」をテーマに様々な活動を展開します。なお、役員は以下の通りです。

会長（運営委員長）：芳賀隆雄
副運営委員：馬場二三子
運営委員：馬場雅弘 佐藤隆士 芳賀隆徳 星 恵一
印南正人 星 欣一 岡本寛司
マネージャー：佐藤隆士 阿久津文稔
庶務：星 広美 会計：広野利和



先月号で、韓国からの教育旅行の受け入れの記事を掲載しましたが、今月は台湾からの旅行者の受け入れを目指す招致事業が行われました。
 2月25日から4日間の行程で、台湾教育旅行関係者15名が南会津町を訪れました。これは海外からの外国人旅行者の誘致を行っている「ビジット南会津推進委員会（星和男会長）」の招聘事業で、台湾の高校生の修学旅行先として南会津町を検討してもらうことを目的に行われました。
 現在、台湾政府は台湾高校生の日本への教育旅行を推奨しており、今回の視察を契機に南会津町への修学旅行の検討が開始されます。

くらしの情報



関係者と交流を深めました

【初日】
 出迎え 仙台空港より松島
 2月25日、台湾教育旅行関係者15名は仙台空港から日本へ入国しました。ビジット南会津関係者と今回の招聘事業に参加した宮城県関係者とともに出迎えました。
 この日は日本三景の一つ松島市内に宿泊し、歓迎レセプションが行われました。
【2日目】
 南会津町入り 田島高校訪問
 松島を発ち、宮城県立仙台東高校を訪問。会津若松市鶴ヶ城を見学後、田島高校を訪問しました。台湾教育旅行関係者は田島高校の教育方針や日本の教育システムについて懇談を行いました。施設見学では同校レスリング部の練習を見学し、部員らと笑顔で記

念撮影を行いました。その後、館岩地域で歓迎レセプションを行いました。歓迎レセプションでは館岩湯の花神楽が披露され、関係者は日本の伝統芸能に強く興味を示していました。
【3日目】
 雪体験 南会津高校訪問
 会津高原たかつえスキー場でスキーやスノーモービルを体験。また、郷土料理体験ではそば打ちも体験しました。午後、南会津高校を訪問。懇談の後、放送部が作成した学校紹介のビデオを鑑賞しました。下郷町大内宿を訪れ、湯野上温泉に宿泊。
【4日目】
 観光地視察 帰国
 栃木県日光市など、首都圏の観光地を訪れ、成田空港より帰国。



田島高校での意見交換

台湾高校生の教育旅行
 現在台湾文部省では、日本への教育旅行を推奨し、日本への修学旅行を行う場合、高校へ補助金を支給しています。したがって、台湾国内に455ある高校のうち、115の高校で日本への修学旅行を計画しています。その多くは京都・奈良や東京を中心とするコースを選んでいますが、日本の原風景や文化を体験できるコースを模索しています。
南会津の魅力とは
 今回視察に訪れた関係者に南会津の魅力を問うと「東京や大きな都市にはない豊かな自然が一番の魅力。そして台湾には降らない雪を体験できるのも、大きな魅力です」との回答がありました。台湾教育旅行関係者の目には南会津町は魅力的に映ったようです。



初めてのスキーを体験しました

ニユースポーツで交流 どんぐりクラブ&オコジョクラブ

2月3日、伊南地域のどんぐりクラブと檜枝岐村のオコジョクラブの「合同レクリエーション」が伊南地域交流センターで行われ、ニユースポーツ「キンボール」などを通して交流を深めました。

昨年引き続き2回目の開催となったこの日はどんぐりクラブから14名、オコジョクラブから17名の合わせて31名が参加しました。キンボールは、「すべての人が楽しめるスポーツ」という意味で、大きくやわらかいボール（直径1.22m、1kg）を使い、チームに分かれて得点を競うニユースポーツです。子どもたちは大きなボールの扱いに苦労しながらも、楽しく汗をかき、交流を楽しみました。



キンボールで交流を深めました

冬も元気に親子で遊ぼう ~雪上運動会@南郷スキー場~

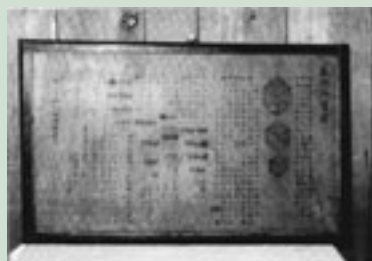


お父さんはやっぱりすごい!

2月18日、南郷スキー場では未就学児を対象にした親子イベント「雪上運動会」(主催:親父の会南郷代表脇坂齊弘)が行われ、親子約100人が参加しました。参加者は雪の中に埋められたカラーボールを拾う宝探し、大きな雪像の上に置かれたおやつを取るおやつひろい、そして親子折り返し地点まで子どもをそりに乗せて引っぱり上げ、帰りは一緒に滑ってくるおやこそりレースに参加し、歓声をあげてイベントを楽しみました。

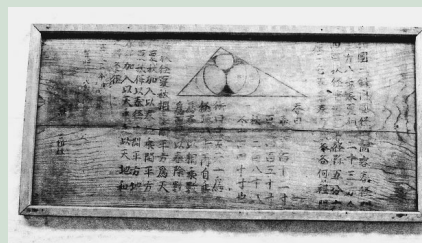
親父の会南郷は、普段仕事が忙しく、なかなか一緒に遊べないお父さんが子どもとふれあう機会の提供を目指し、年数回のイベントの企画運営をしています。

知っていますか? まちの文化財 パートII ~館岩地域~



◆鹿島神社算額(さんがく)【館岩地域 熨斗戸】

鹿島神社所有。明治16年(1883年)の歴史資料です。縦42.7cm、横103.3cmの大きさで、けやきの一枚板で作られています。題材は奉納者である星雲吉邦教(湯田運吉)氏の独創ではなく、江戸前期の数学者である関孝和の時代からの計算練習問題が記され、同氏の門人達の是非掲げるとの所望により奉納されたものです。旧伊与戸村出身の数学者である同氏の算力を推察できるなど、算額史上貴重な資料です。



◆熊野神社算額(さんがく)【館岩地域伊与戸】

当時の湯田運吉氏は、弘化3年(1846年)、21歳の若さで算博士八島外記より算法指南の免状を

もらいます。嘉永3年(1850年)、26歳当時にイタリア人数学者マルハッチの数学作図題材を解法し、嬉しさのあまり題材を記した算額を伊与戸の神社に奉納しました。町指定重要文化財指定として保存されており、縦90.5cm、横44.5cmの大きさで、杉の一枚板で作られています。明治5年(1872年)の学生発布以降は、同6年6月に村が学校組合を起し、館岩地域の塩ノ原・湯ノ花・熨斗戸の3ヶ所に学校が設置され、読書・算術・習字の3科が設けられました。同氏は学校の試補として村内の学校を巡回し教鞭を執っていたと記録されています。

町文化財に関するお問い合わせは
本庁教育委員会文化振興係 TEL0241-62-6311

御蔵入交流館 —3・4月の催し—



今、私たちができること、そして未来へ引き継ぐために
**駒止湿原環境の現状と
 今後の保護策の報告**

- ◆と き 平成19年3月24日(土)
午後2時から(聴講無料)
- ◆会 場 御蔵入交流館 多目的ホール
- ◆内 容 駒止湿原の環境報告と今後の湿原保護に対する提案を行います。
- ◆報告者 駒止湿原保存管理計画策定委員会
榎村利道委員長(福島大学名誉教授)
- ◆主 催 駒止湿原保護協議会
駒止湿原保存管理計画策定委員会
大沼郡昭和村
南会津町
- ◆問い合わせ 御蔵入交流館 TEL0241-62-6311

4月1日(日)

**南郷歌謡同好会・舞踊愛好会
 合同チャリティ発表会**

- ◆出 演 南郷歌謡同好会・南郷舞踊愛好会・藤間流日本舞踊愛好会のみなさん
- ◆開演時間 9:30開演(9:00開場)
※入場は無料です。
- ◆会 場 南会津町文化ホール
- ◆問い合わせ
南郷歌謡同好会 橋
TEL0241-72-2367

4月15日(日)

舞サークル発表会

- ◆出 演 舞サークル・耕謡会のみなさん
- ◆開演時間 11:30(開場11:00)
※入場は無料です。
- ◆会 場 南会津町文化ホール
- ◆問い合わせ
舞サークル 小椋
TEL0241-62-1118

BOOKS ~図書館より~

「本のたな卸し」特別整理期間のお知らせ

図書館は、4月9日(月)から17日(火)まで、特別整理期間として休館いたします。期間中、利用者の皆さんにはご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、期間中の本・雑誌の返却については、御蔵入交流館入口にある返却ポストをご利用ください。(ただし、ビデオやDVD・CDについてはとても壊れやすいので、返却ポストには入れないでください。)

貸出冊数10冊キャンペーン

特別整理期間の休館にあたり、3月27日(火)から4月8日(日)まで、本・雑誌・紙芝居の貸出上限を5冊から10冊に拡大します。この機会にたくさん本を読んでみてはいかがでしょうか。

	日	月	火	水	木	金	土
4 月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

□ が休館日

新着本紹介



ひとり日和
 青山 七恵 著、河出書房新社
 【内容】東京で暮らせるのであれば、なんだってよかったー。20歳の知寿が居候することになった遠い親戚の71歳の吟子さんの家。ふたりが暮らした春夏秋冬とおして、ヒロインの自立をしなやかに描く。(第136回芥川賞受賞作)



いまこの国で大人になるということ
 荻谷 剛彦 編著、紀伊国屋書店
 【内容】「いま」「日本という」この国で「大人になる」とはいったいどういうことか。「大人」って何か。大人には「なる」ものなのか。第一線の書き手たちが、さまざまな視点から若者を困む状況を浮き彫りにする。



ガラスの城の子どもたち
 ジャネット・ウォールズ 著、河出書房新社
 【内容】わたしたちは「かわいそう」なんかじゃありません。育児放棄(ネグレクト)に立ち向かったひとりの女性の告白。過酷な現実から真正面から向きあって、努力のすえに自力で乗り越えた事実から生きる勇気をもたらえる感動の実話。

このほかにも、図書館にはたくさんの新着本があります。ぜひご利用ください。

【南会津町図書館】TEL0241-62-5522

広報みなみあいづでは、みなさんからの情報をお待ちしております。
また、広報誌へのご意見・ご感想もぜひお送りください。

【募集コーナー】

- ①サークルの輪・・・町内で活動中のサークルを取材して紹介します。
サークル名、活動内容、連絡先をお送りください。
- ②わが家のアイドル・・・就学前のお子様の写真を募集します。
保護者のひとことを記載の上、お送りください。
なお、送付いただいた写真は返却しませんので
ご了承ください。

情報は電話、郵便、ファックス、Eメールにて受け付けます。お待ちしております。

〒967-8501

(住所不要)

南会津町役場企画観光課

広報情報係 まで

TEL 0241-62-6200

FAX 0241-62-1288

E-MAIL info@minamiaizu.org

サークルの輪



現在会員20名で太極拳とフラダンスを行っています。太極拳のローテンポが体に良い影響を与え、日ごろの健康維持のために参加していますとの意見が聞かれました。練習は週1日（毎週水曜日午後1時30分～、館岩会館）で行っています。定期練習の他に館岩地域で開催されている夏まつりに同じ衣装に身を包み、大勢の参観者の前で太極拳を披露します。ゆっくりとした動きなので、老若男女を問わず、どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

【連絡先】

稲葉 公代 0421-78-3278

馬場 シツエ 0241-78-2253

わが家のアイドル



あかり
佐藤 朱里ちゃん6歳

田島地域・後原

父・雄司さん 母・多美子さん

幼稚園は楽しい思い出がいっぱい
できました。4月から小学生。友だ
ちをたくさんつくります。

みんなのひろば

南会津町のホームページを携帯電話からもご覧いただけます。



左のまた、左のQRコードを読み取って、検索画面へアクセスすることができます。
(QRコード読取対応のカメラ付携帯電話が必要です。)

この3月20日、南会津町は誕生1周年を迎えます。この1年、さまざまな出来事がありました。1月、大雪が降り、交通が滞り、多くの人が大変な思いをしました。2月、桜が咲き始め、春の訪れを感じました。3月、卒業式が行われ、多くの卒業生が巣立ちました。4月、新年度が始まり、新しい出会いと成長がありました。5月、母の日を迎え、母への感謝の気持ちを伝えました。6月、梅雨入りし、雨が続きました。7月、夏休みが始まり、子どもたちは夏を満喫しました。8月、お盆を迎え、先祖供養を行いました。9月、秋の訪れを感じ、収穫の季節となりました。10月、紅葉が美しく、秋の気配が濃くなりました。11月、冬支度の準備が進んでいます。12月、クリスマスと新年の準備がすすんでいます。この1年、多くの方の協力とご支援のおかげで、南会津町は元気に活動しています。来年も、みなさんのご協力とご支援をいただき、南会津町をより良くしていきたいと考えています。ありがとうございました。

編集後記

まちの文芸 ～俳句・短歌～

【おくやま吟社】（田島）

不束な妻作り足すつむじかり
日脚伸ぶ慶事を告ぐる案内状
過疎村の少子化進みどんど焼

柏倉 清子

山口 いっせい

山口 旦元

【会津山口俳句会】（南郷）

振るたびに夢のふくらむ種袋
猫柳瀬音にふるへつ、応ふ
日の恵みほしいま、なる路の臺

麗華

元子

瑛華

【伊南銀杏俳句会】（伊南）

左義長の火入れ役を賜りぬ
コーヒー豆煎りつつ春に入る日かな
続けざま嘯くしゃみ大きく司会役

大東白

馬場 ミエ

岡本りつ子

【鳴山短歌会】（田島）

日かくすり時が薬よゆつくりと癒すほかなし心の傷は
永遠に消えゆるなかれと「平和の火」に祈りき
囲炉裏火に一斗鍋を架け寒の夜べつ甲色に水飴を煮き

柏倉 清子

小林 安子

遠く広島の旅

近藤 功

【南郷俳句会】（南郷）

福は内町長も撒く峡の寺
縫い初めは球児のズボン繕える
我が心覗くが如く路の臺

恭子

トメ子

セツ子



田島高等学校卒業式

3月1日、県立高校の卒業式が行われました。今年、町内にある2つの県立高校から卒業するのは179名（田島高校131名 南会津高校48名）です。

別れと旅立ちの卒業式。3年間の忘れられない思い出、大切な大切な友達、みんなで頑張ってきた3年間。あの日あの時の思いがよみがえり、涙があふれる最後の校歌斉唱。

どこにでもある卒業式の風景ですが、田島高校には「田島高校だからこそ」の笑顔と涙があふれ、感動的な卒業式となりました。卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。皆さんの今後の活躍を町民一同期待しています。

